

平成 27 年 南砺市文化財保護審議会 会議録

1. 開催日時 平成 27 年 4 月 24 日(金) 午後 1 時 : 30 分～午後 4 時 40 分
2. 開催場所 井波庁舎 3 階 301 会議室
3. 出席者 文化財保護審議委員 10 名
千秋会長、往蔵職務代理人、佐伯委員、西井委員、長谷川委員、吉井委員、
上野委員、辻沢委員、酒井委員、井頭委員
事務局
教育委員会：豊川部長、此尾課長、林係長、片田主任
4. 欠席者 文化財保護審議委員 5 名 原口委員、金龍委員、藤田委員、池田委員、
北田委員
5. 傍聴人数 0 人
6. 議題
部長あいさつ
会長・職務代理人選出
会長あいさつ
審議事項（継続審議）
福光「目玉監的壕」保存修理工事(案)について
報告事項
 - 1 国登録有形文化財(建造物)のとりくみについて
 - 2 ふるさと文化財の森設定について
 - 3 平成 26 年度実施の文化財保護関係事業報告
 - 4 平成 27 年度の文化財保護関係事業についてその他
現地見学 ・南砺市埋蔵文化財センター
・福光城址栖霞園

7. 議事内容

- ・豊川部長あいさつ
- ・会長、職務代理者選出
- ・会長；千秋委員 職務代理者；往歳委員
- ・千秋会長あいさつ
- ・審議事項1 福光「目玉監的壕」の保存修理工事(案)について

事務局（配布資料に基づき、保存修理案を説明）

要約：平成26年4月に市の史跡に指定された立野原監的壕のうち、特に福光の目玉監的壕の劣化がひどく危険な状態となっているため、今年度に保存修理工事を実施したい。施工業者はコンクリートの文化財建造物の保存修理経験がある業者で、26年度に監的壕の現状調査と保存修理設計の作成を委託した。

崩落部はポリマーセメントモルタルで充填、コンクリートは80年以上経過しているため、特殊セメントを注入し全体に硬化させる薬剤を注入、防水機能の付与、内部には炭素繊維強化プラスチックシートを張る。510万円を予算化。

- ・報告事項1 登録文化財の取り組みについて

事務局（資料に基づき説明）

- ・報告事項2 ふるさと文化財の森

事務局（資料に基づき説明）

要約：文化庁の制度。合掌造り家屋を守るだけでなく、それらを構成する屋根材を作る場所、人も守っていく制度で、上平の茅場が認定された。今後も相倉をはじめとしたほかの茅場も追加していく。普及啓発や維持管理に補助金がもらえる。所有者の同意書等、手続きの整った箇所から認定しているので、今後も順次追加していく。受付窓口は文化・世界遺産課。

- ・報告事項3 H26 度実施の文化財保護関係事業報告

善徳寺の庫裏・台所門保存整備事業について、今年度は庫裏の基礎傾き沈下の修正、かまどの復元などを実施。

- ・報告事項4 H27 度の文化財保護関係事業について

事務局（資料をもとに説明）

加賀一向一揆関連遺跡と古道調査は調査委員会に出席

福野の授眼蔵図書館については公開活用に向けて検討中。

- ・その他

現地見学

- ①南砺市埋蔵文化財センター
- ②福光城址栖霞園